奈良先端科学技術大学院大学における地域連携の取組について



奈良先端科学技術大学院大学

奈良先端科学技術大学院大学の地域連携方針

奈良先端科学技術大学院大学では、2030年を見据えた学長ビジョン2030の中で、科学技術よる社会貢献を重視する方針を掲げており、その一環として地域共創に注力することとしています。

2021年には地域共創を実現すべく、地域の金融機関である「南都銀行」の協力のもと、「地域共創推進室」を設置しました。

この地域共創推進室では、自治体や地元企業と連携し、防災・減災コンソーシアムの設立や奈良県・生駒市と連携し、大学発スタートアップの創出に向けた取組なども積極的に実施しています。

PICK UP

大学の研究者



先端科学技術研究科
澤邊　太志　准教授

■ 主な研究内容

- 生活者とともに活動するロボット
- ロボットと人間の対話技術
- 次世代のユーザインタフェース
- XR（VR、AR）

※研究者の経歴等は
URL：http://imdl.naist.jp/people/taishi-sawabe/ をご参照下さい。

デジタル技術の活用（装置・ディバイス、ネットワーク、ロボティクス、XR）

地域連携事例集にも掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

防災・防犯、健康・医療、福祉

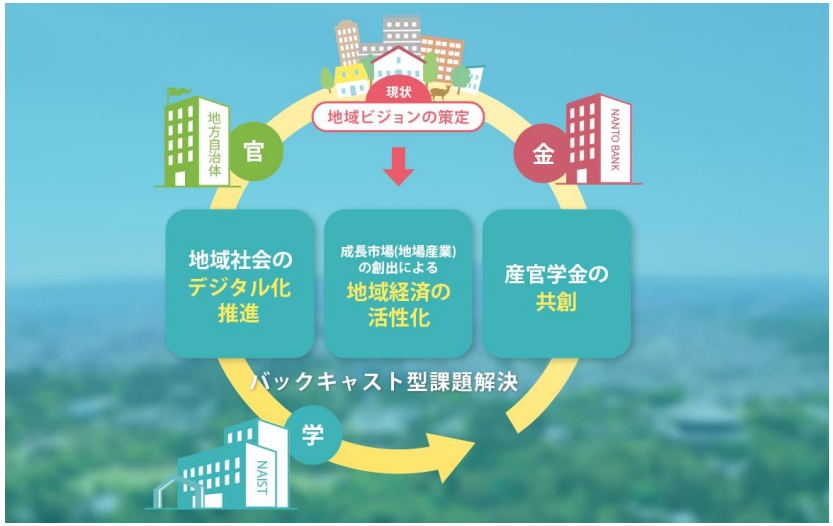
■ 活用例

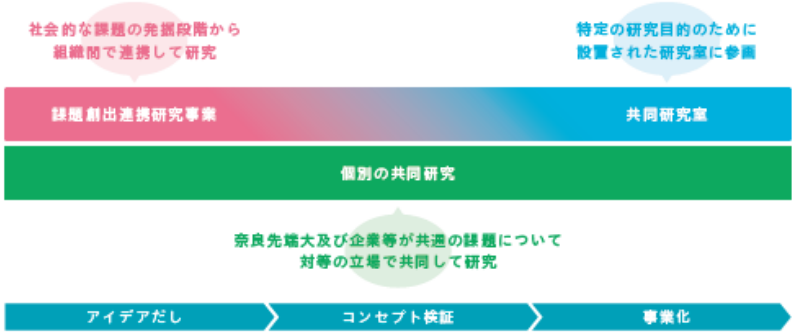
- デジタルデバイドの解消
- 高齢者の見守り
- 一人暮らし世帯の社会参加支援
- 災害発生時の安否確認

地域との連携形態について

地域との連携形態

本学では、自治体や地元企業、周辺の教育機関と様々な連携の形をとり地域課題解決に取り組んでいます。
自治体とは、包括協定、連携協定、コンソーシアムへの参画並びにコーディネータの依頼等を地域共創推進室が主体となり、地元企業とは、共同・受託研究、受託試験並びに学術指導等を研究・イノベーション推進機構　研究推進部門が主体で実施しています。





地域共創推進室

- **包括連携協定**
- **連携協定**
- **展示会出展**
- **受託研究**
- **コンソーシアム参画**
- **会議体、協議会への参画**

研究推進部門

- **共同研究**
  奈良先端大及び企業等が共通の課題について、対等の立場で共同して研究を行う制度です。
- **共同研究室**
  奈良先端大の教員が特定の研究目的のために設置した研究室での研究活動に参画することができます。
- 課題創出連携研究事業
  組織間の大型共同研究制度です。社会的な課題の発掘段階から組織間で連携し、課題解決に向け継続的かつ横断的な研究活動を展開します。
- **学術指導**
  奈良先端大の教員が教育、研究及び技術上の専門知識に基づき指導助言を行う学術指導を行います。
- **受託研究**
  奈良先端大において、企業等から委託を受けて、奈良先端大の業務として実施する研究で、その成果を委託者へ報告する制度です。

参考URL：https://www.naist.jp/collaboration/co-creation/outline.html

地域との連携実績について

地域との連携実績

奈良県生駒市に所在する本学において、奈良県、生駒市との包括協定締結や奈良市との連携協定締結をはじめ、奈良県下の市町村との連携を拡張しつつあります。
特に奈良県の地場産業活性化に向け、本学の研究成果の活用や企業との連携も含めた産官学連携を強化しています。

・ 過去の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2024年	5件	奈良市や生駒市と地元企業が参画する 奈良先端大 防災・減災コンソーシアムの活動。 生駒市が実施する「いこま産学連携アクセラレーションプログラム（I-SAP）」が始動（3件の採択）。 奈良県のスタートアップ補助金でEVカーシェアが採択。
2023年	6件	奈良市との連携（共同研究補助事業）、奈良市の地元企業と本学との共同研究 奈良県との共同研究事業(デジタルデバイド対策事業、機能性成分の効果検証事業、奈良式柿タンニンの品質安定化、土地の管理・利用に関するデータ分析事業
2022年	3件	四条畷市との高齢者見守りアプリの実証実験 生駒市と乗り捨て可能EVカーシェアリングシステムの拡大やセンサ装着型トングを用いたゴミ拾いの可視化によるごみの種別・エリア特定 などの課題解決と、環境問題への関心を高める活動を支援

連絡先
奈良先端科学技術大学院大学 地域共創推進室
TEL：0743-72-5090
Mail：co-creation@ad.naist.jp